

# 屋上パラペット端部 パルスショックシステム 標準施工手順書

## 準備する材料



## 準備する道具



# パルスショック本体 製品仕様・各部名称

## 製品仕様

最大有効長／1,000m 、 最大電圧／10,000V

最大出力エネルギー／0.5ジュール

周波数／1.5～3.5sec 、 重量／5.4kg

サイズ／幅282・高さ365・奥行260(mm)

## 各部名称

### 本体正面



通電時ランプ点灯(緑色)

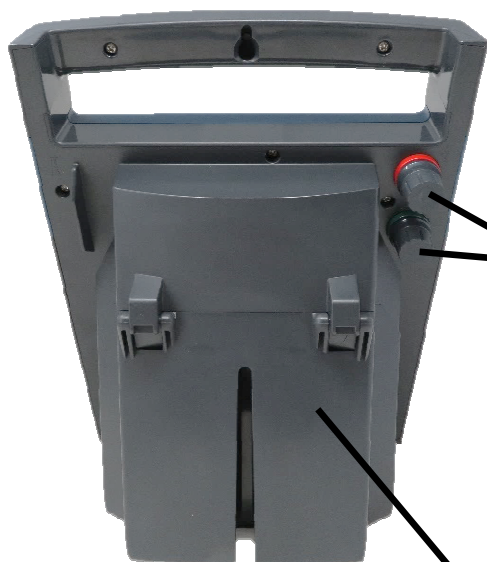
電源ON/OFFスイッチ  
(白○:ON/黒●:OFF)



ソーラーパネル



### 本体背面



通電接続端子(赤・深緑)



バッテリー格納部

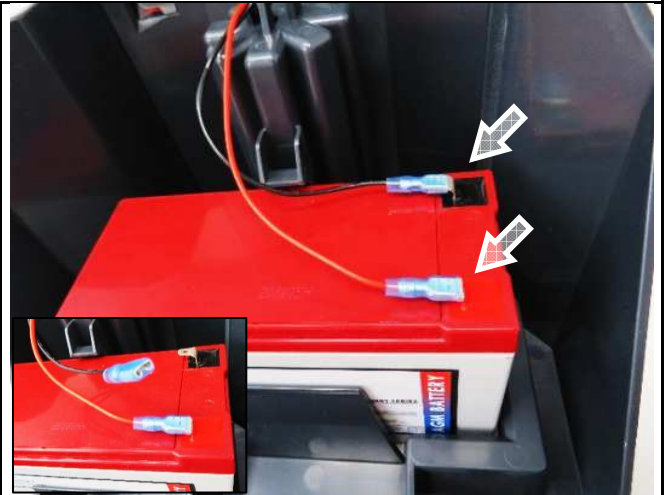


## 施工の流れ(本体の準備)



### ①本体カバーを開ける

本体下部を写真のようにつまみ押し上げます。(感電の恐れがありますので、濡れた手で行わないでください)



### ②本体コネクタをバッテリーに接続する

矢印のように配線のコネクタをバッテリー端子に接続します。抜けのないよう一番奥まで確実に挿し込んでください。



### ③配線ケーブル端末加工(本体接続用)

カッターなどを使用し、ケーブル(グレー・黒とも)の被覆を剥き写真のように加工します。



### ④丸形圧着端子を取り付ける

ペンチ等を使用し、皮を剥いた電線を圧着端子に取り付け、絶縁テープで接続した箇所を巻きます。黒のケーブルも同様に加工します。



### ⑤本体とケーブルを接続する

本体通電接続端子のカバーを外し、加工したケーブルを写真のように取り付けます。【グレー線：赤色端子、黒線：深緑端子】



### ⑥本体側の準備完了

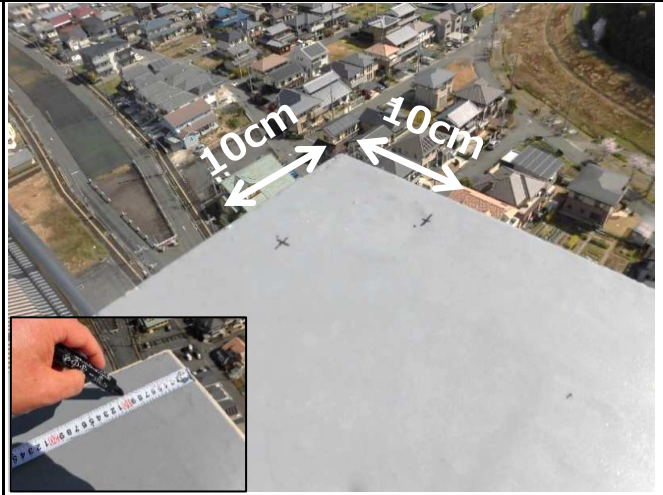
カバーを戻し、本体側の準備は完了となります。ケーブルとSUS鋼棒の接続方法につきましては、後述いたします。(P.6、㊸より)

## 施工の流れ(碓子の取付け)



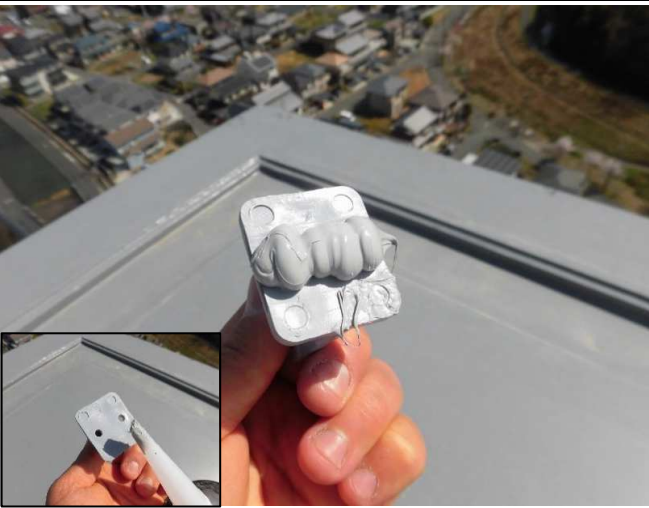
### ⑦ 碓子(ガイシ)取付け箇所の清掃

碓子を取り付ける箇所がフンなどで汚れていないかチェックし、汚れている場合は清掃します。(必要に応じてプライマースプレーを塗布してください)



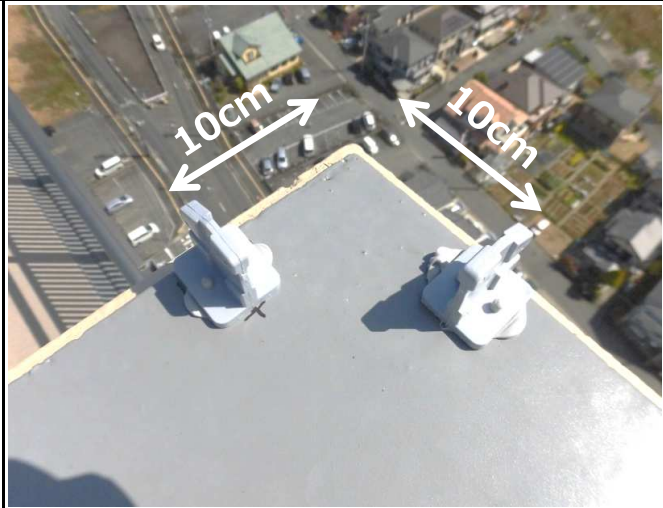
### ⑧ 碓子取付け位置のマーキング

碓子取付け位置をマーキングします。コーナーは10cm程度離してください。碓子間は60cm以内に取り付けてください。



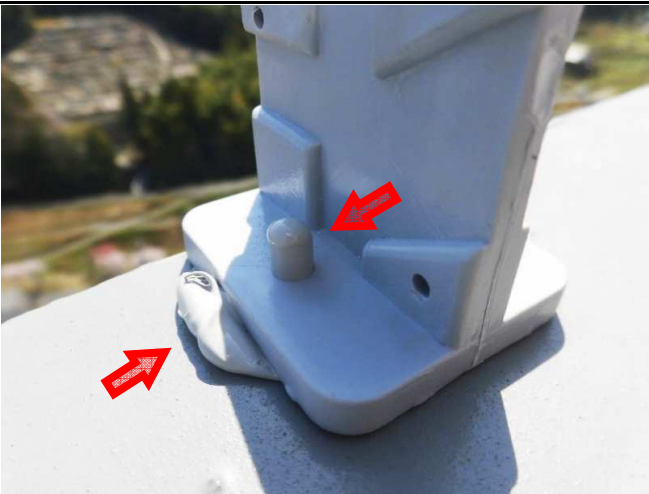
### ⑨ 碓子に変性シリコンを塗布

碓子の裏面に変性シリコンコーキングを塗布します。変性シリコンは、碓子の穴をふさぐように塗布し、量は写真と同程度塗布してください。



### ⑩ マーキングした位置へ設置

先ほどマーキングした位置へ碓子を設置します。



### ⑪ コーキングのチェック

碓子の穴よりコーキングが出ているかをチェックします。碓子下、左右からも写真と同程度以上、コーキングが出ているか確認してください。

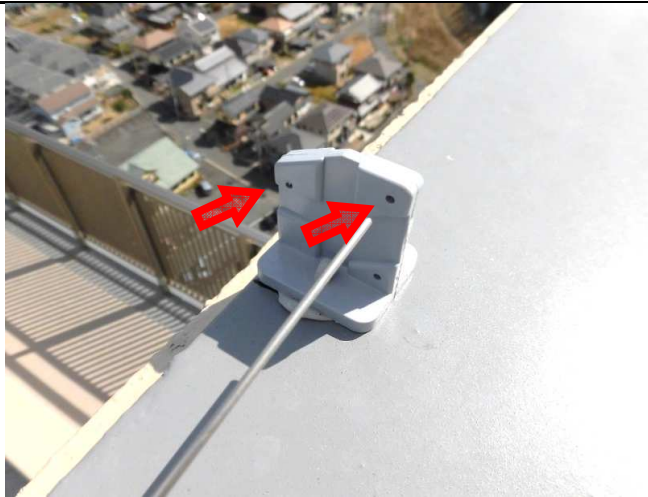


### ⑫ 必要箇所に碓子を設置

必要な施工箇所へ同じ手順で碓子を設置していきます。コーキングの硬化時間の目安は下記の通りです。

夏期：約1日、冬期：1日以上(気温・天候等により変化)

## 施工の流れ(SUS鋼棒の取付け)



### ⑬ SUS鋼棒の取付け

SUS鋼棒を、碍子赤矢印の穴に通していきます。  
(鋼棒は曲がらないよう注意してください。曲がったものは、動作不良につながるため使用しないでください)



### ⑭ SUS鋼棒をジョイントする

φ2用アルミスリーブ・圧着ペンチを使用し、SUS鋼棒をジョイントします。(SUS鋼棒はスリーブの左右から1cm程度出るくらいに長さをカットしてください)



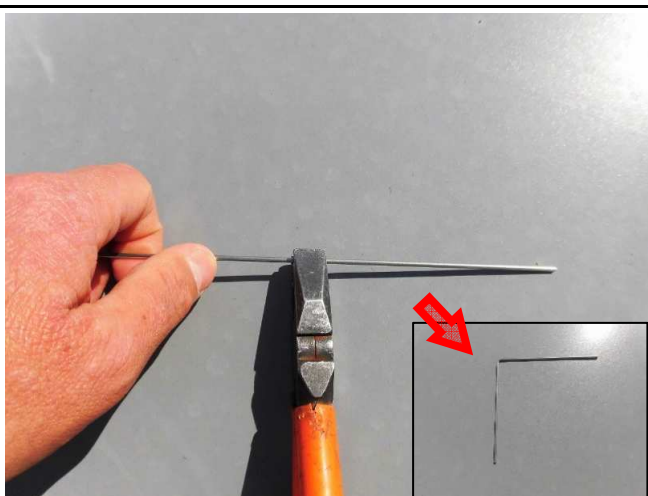
### ⑮ SUS鋼棒をジョイントする

写真のように1つのスリーブに対して両端2箇所を圧着してください。圧着後、鋼棒が抜けにくい左右に引っ張りチェックします。



### ⑯ SUS鋼棒をジョイントする

必要箇所をすべてジョイントする。



### ⑰ コーナー部用 SUS鋼棒作成

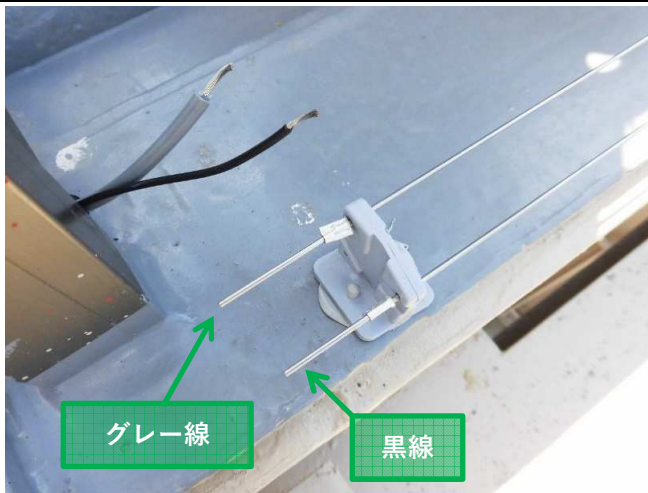
コーナー用の鋼棒を作成します。(内外2本)  
鋼棒をカットし、ペンチなどで直角に折り曲げます。



### ⑱ コーナー部SUS鋼棒のジョイント

通常のジョイント箇所と同じ手順でジョイントします。

## 施工の流れ(本体配線の接続・本体設置)



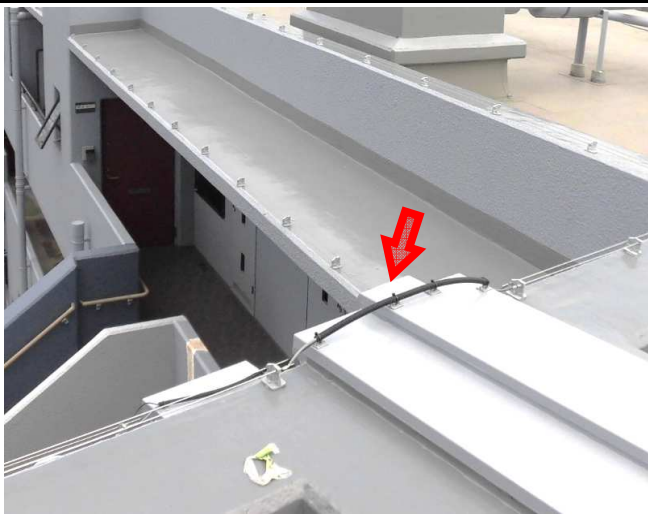
### ① 本体配線をSUS鋼棒へ圧着接続

本体端子に取り付けた配線の反対側端末を加工し、一番近いSUS鋼棒へ這わせスリーブで圧着します。  
**黒線は建物外側、グレー線は建物内側に接続します。**



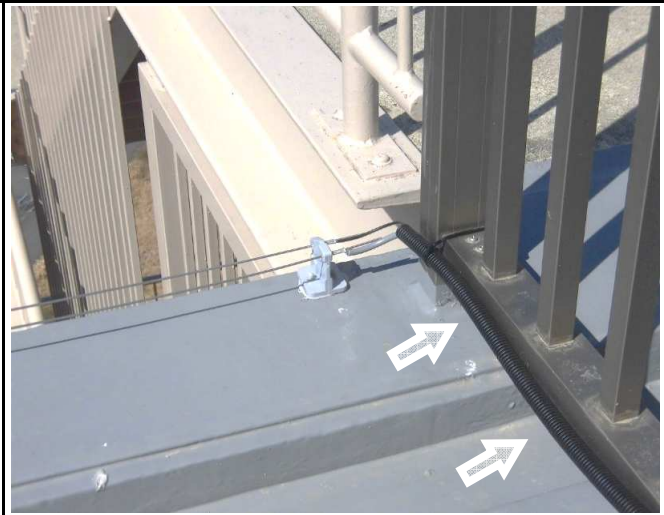
### ② 本体配線をSUS鋼棒へ圧着接続

**配線は少し余裕をもたせた長さで取付けてください。**  
 配線の長さが短いとジョイント部が常にテンションの掛かった状態になり、断線や不具合の原因になります。



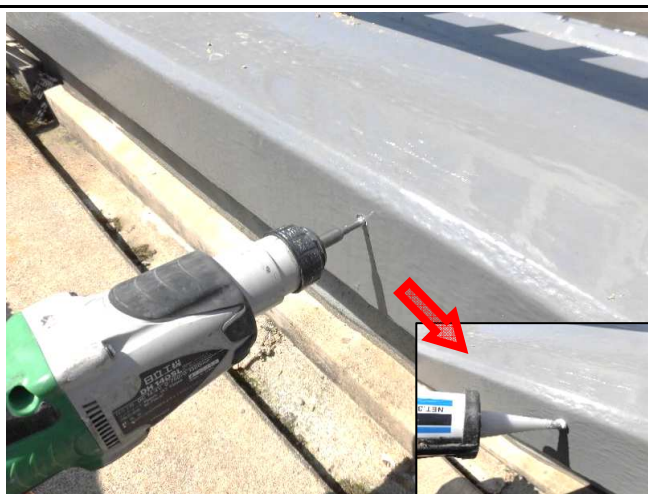
### ④ 段差などへの配線

本体配線以外の、段差など配線の必要がある箇所には同様の施工を行いますすべての鋼棒を導通させてください。



### ② 段差などへの配線

配線(グレー・黒)は、写真のじゃばらホースを使用することで、配線被膜の耐久性を向上させます。【使用推奨】



### ③ 本体の取付け(掘削・防水処理)

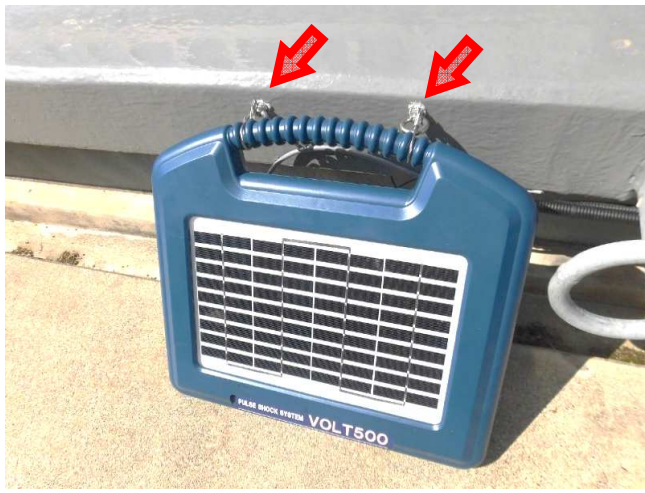
本体ソーラーパネル面が南向きで、日の陰らない場所を選定し本体取っ手の高さで2箇所掘削する。掘削後、穴のほこりを除去し防水材を注入してください。



### ④ 本体の取付け(アンカー・アイナット)

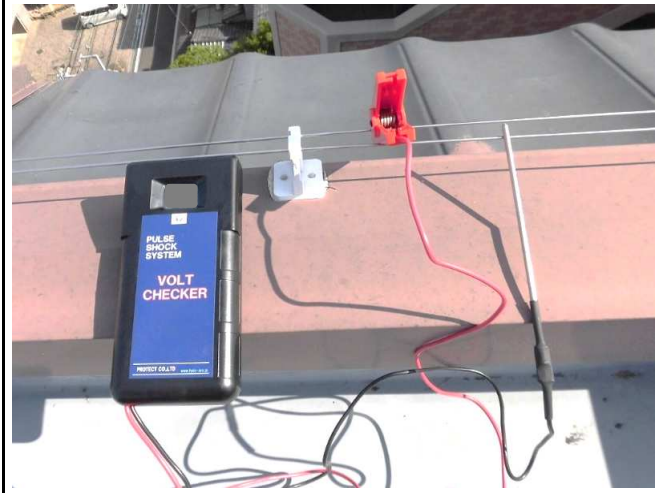
SUS製M6アンカー、SUS製M6アイナットを取付ける。

## 施工の流れ(本体設置)



### ㊸ 本体の取付け(躯体へ固定)

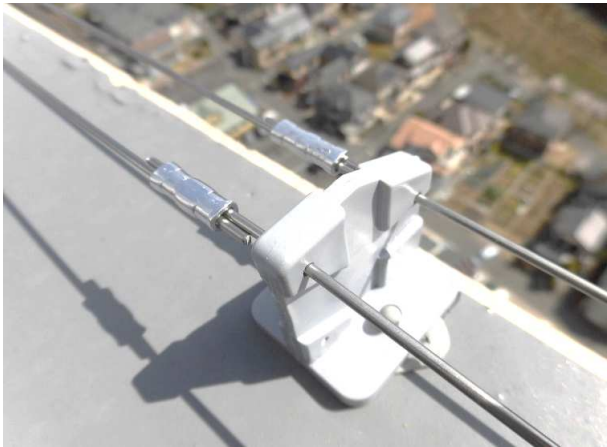
アイナットと本体の取っ手部分をSUSワイヤー(Φ2)で結束し固定します。(2箇所以上結束してください)  
※本体写真は旧タイプのものとなります。



### ㊹ 各所 通電チェック

設置後、電源スイッチをONにしてチェッカーを使用し、各所通電チェックを行ってください。  
**(適正数値範囲：7.0～9.9)**

## 施工完了



# 施工完了(施工事例)

